

「リスク・フリー・レートに関する勉強会」第8回議事要旨

(平成27年12月21日(月)16時30分～17時30分、日本銀行本店会議室)

1. 議事の概要

- 第7回議事要旨が承認され、日本銀行ホームページ上で公表することが承認された。
- 事務局から、リスク・フリー・レートに関する国際的な議論の動向についてアップデートが行われた。
- 事務局から、短期金融市場取引活性化研究会における市場参加者へのアウトリーチでは、これまでの勉強会の整理(無担保コールレート・翌日物とGCレポレートを優先的な検討対象とすること、前者の方が実務的な課題がやや少ないこと)に多くの賛意が示されたことが紹介された。
- 続いて、勉強会メンバーへのアンケートで関心が高かった技術的論点について議論が行われた。具体的には、①OISレートをターム物リスク・フリー・レートとしてデリバティブ取引に利用する場合に、第7回勉強会で一部の先から提起されたプライシング上の問題は解決可能とみられること、②LIBOR・TIBOR等に連動した取引をリスク・フリー・レートベースのデリバティブでヘッジする場合、会計上の扱いが課題となること、などが報告された。
- 最後に、今後の勉強会の進め方について、議長から、以下の2つのワーキング・グループを設立し、集中的に議論を進めることが提案され、了承された。
 - (i) 市場構造の分析・調査に関するワーキング・グループ
—— リスク・フリー・レート利用の射程についての議論に資するよう、本邦デリバティブ市場の構造を分析する。
 - (ii) 市場整備に関するワーキング・グループ
—— リスク・フリー・レートを用いたデリバティブ市場の活性化に資するよう、OIS市場の整備に向けた施策を検討する。
- 議長より、次回会合は2月上旬を予定していることが示された。また、議長から、次回会合では、各ワーキング・グループからの中間報告が行われること、市中協議文書の骨子に関して検討を行うことが提案され、異論なく了承された。

以 上

(オブザーバー)

金		融	庁	林	朋	晃
金		融	庁	鳩 間	正	也
金		融	庁	白 澤	光	音
金		融	庁	福 島	宏	樹
日	本	銀	行	藤 田	研	二
日	本	銀	行	東	善	明
日	本	銀	行	清 水		茂

(敬称略)

以 上